

「看護職員処遇改善評価料」 のアンケート調査の報告

全日本民主医療機関連合会 <https://www.min-iren.gr.jp/>
きらり看護 <https://kirarikango.com/>

2023年4月17日 PRESS Release



1

はじめに

2022年10月からの診療報酬改定において、新型コロナウイルス感染症の対応などで一定の役割を担う病院に勤務する看護職員の処遇改善を目的に「看護職員処遇改善評価料」が新設された。「看護職員処遇改善評価料」は対象が限定され就業中の看護職員約168万人の内、35%程度(約57万人)に限られている。

「看護職員等処遇改善」への対応や、それぞれの事業所での思いを顕在化させ、それを通じて不公平や分断を招くことなく看護職員をはじめとしたケア労働者の処遇改善が進むような社会的機運を高めたいため、アンケート調査を実施した。

2

調査目的など

名称：看護職員処遇改善評価料アンケート調査

- 調査目的：①「看護職員等処遇改善」への対応や、それぞれの事業所での思いを顕在化させる。
- ② ①を通じて、不公平や分断を招くことなく看護職員をはじめとしたケア労働者の処遇改善が進むような社会的機運を高めていくための資料とする。

調査期間：2023年2月17日～3月31日

調査対象：医療機関・介護施設・訪問看護ステーション等の看護管理責任者

調査方法：各県の民医連から、都道府県内の医療機関等に郵送での依頼

Googleフォーム

※調査は、無記名で行い、個人や事業所が特定できないように集計・分析しました。

3

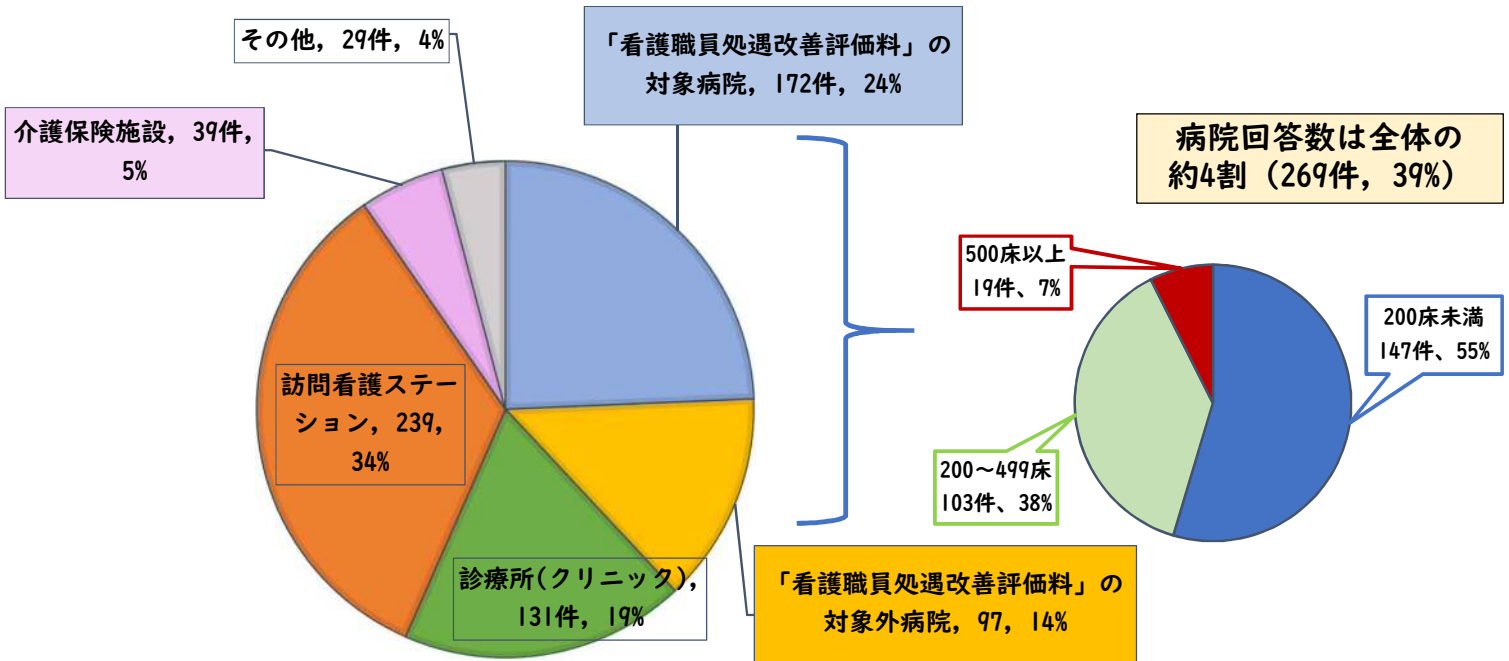
回答事業所の所在県 ●35都道府県696事業所の看護管理者より回答を得た

県連	回答数	県連	回答数	県連	回答数	県連	回答数
01.北海道	39	13.東京	27	25.滋賀	4	37.香川	9
02.青森	10	14.神奈川	11	26.京都	69	38.愛媛	0
03.岩手	1	15.新潟	1	27.大阪	121	39.高知	3
04.宮城	2	16.富山	0	28.兵庫	27	40.福岡	0
05.秋田	0	17.石川	11	29.奈良	20	41.佐賀	0
06.山形	1	18.福井	2	30.和歌山	13	42.長崎	16
07.福島	1	19.山梨	19	31.鳥取	6	43.熊本	35
08.茨城	0	20.長野	6	32.島根	2	44.大分	0
09.栃木	0	21.岐阜	0	33.岡山	1	45.宮崎	57
10.群馬	18	22.静岡	0	34.広島	3	46.鹿児島	3
11.埼玉	104	23.愛知	7	35.山口	1	47.沖縄	0
12.千葉	8	24.三重	0	36.徳島	8	不明	30
						合計	696

*先行して福岡民医連(22年4月回答数167件・23年3月回答数254件)・熊本民医連(22年6月回答数50件)東京民医連(23年1月回答数279件)は、同様の調査を実施。累計1,446事業所

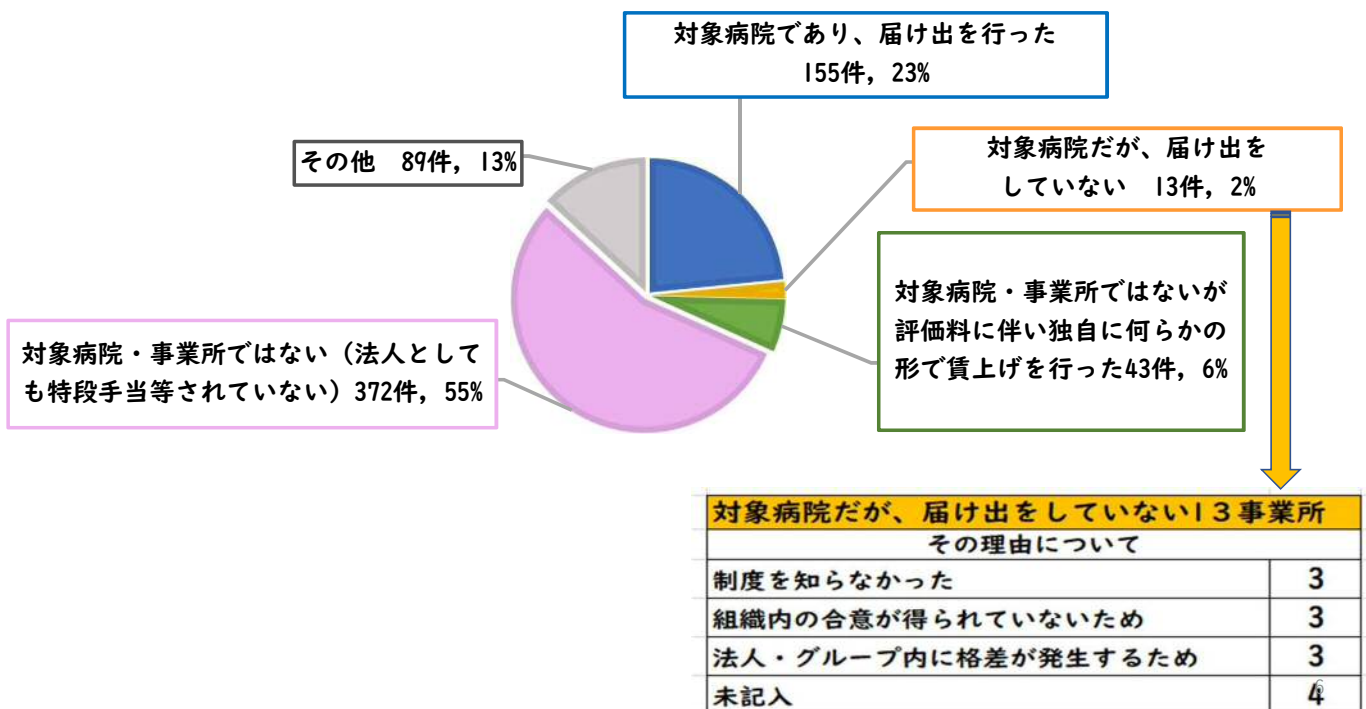
4

回答事業所の概況 (N=696件)

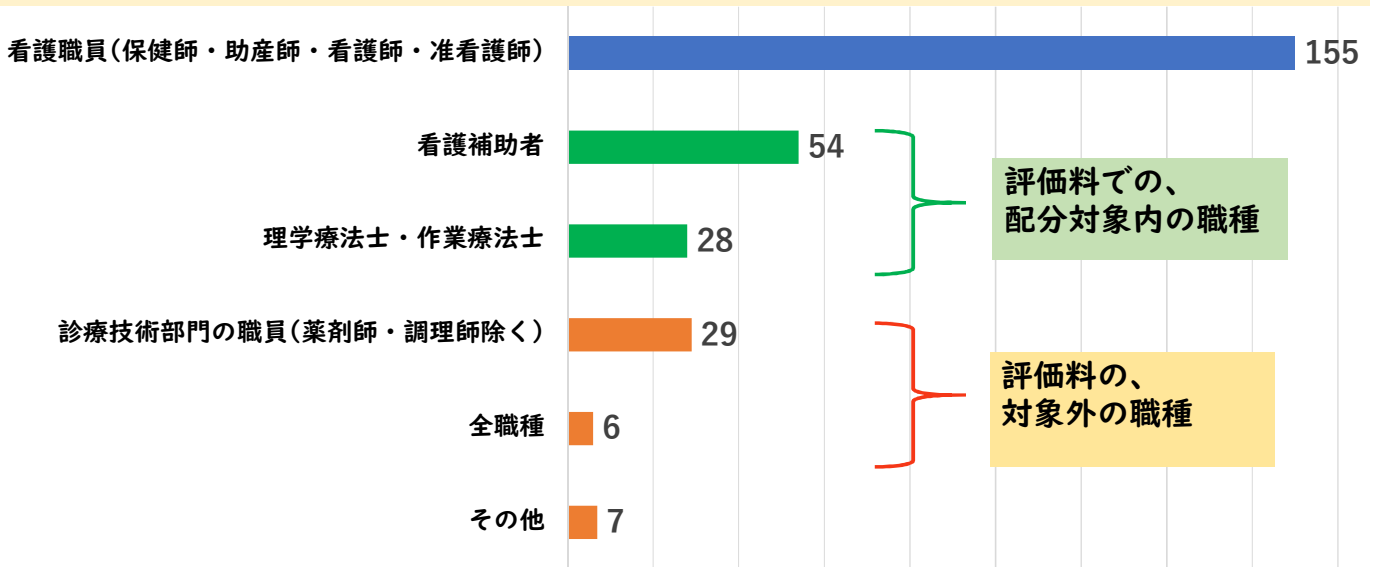


5

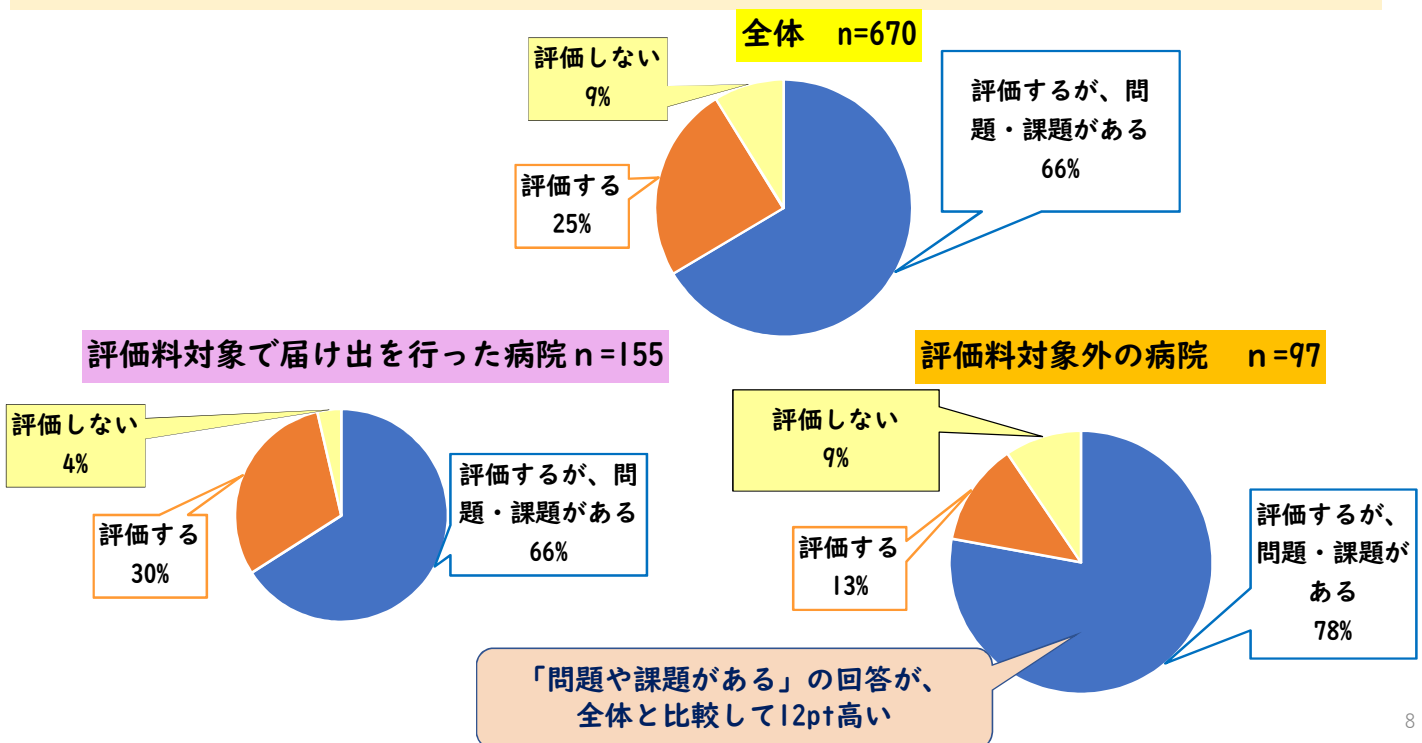
① 「看護職員処遇改善評価料」の対応について (n=672)



② 「看護職員処遇改善評価料」対象かつ届け出を行った病院で
 →賃金改善の対象とした職種について（複数回答・n=155件）



③ 「看護職員処遇改善評価料」の制度を評価しますか？



アンケートの声（病院）～医療費は無料に～

- *国民のいのちと健康は、国が守ってほしい。
医療、看護、介護、教育、保育等は利潤を求めるものではなく無料にすべき。私達は、お金がないからこの患者さんを看護しないなんてありえない。
- *看護師が増えても、給料があがっても経営がなりたつように、そのためには軍事費ではなく社会保障の財源の確保を強く求める。

9

アンケートの声（病院）～命を守る人員増を～

- *ケア労働者は、自己犠牲のもと成り立っている。いのちと向き合っているから、逃げるできない。
対象者の尊厳を尊重できるよう、健全に働き続けられる労働の評価、人員配置が不可欠。
- *高齢化が進み、今の施設基準内の看護要員では安全が守れず、職員の疲労も蓄積する一方、増員は切実な願い。
- *医師の働き方改革で、看護師への業務負担が一段と多くなっており、臨床は非常に多忙。看護師から多職種へのタスクシフトを推進できる取り組みを求める。

10

アンケートの声（病院）～看護の力を発揮したい～

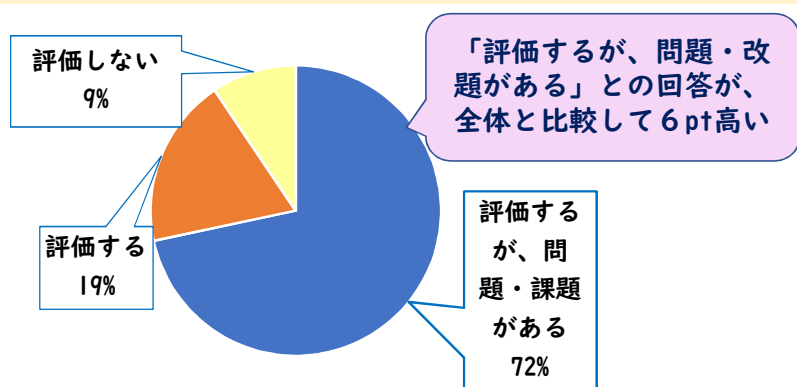
＊現在の診療報酬内での看護体制では患者への看護ケアが不足しているのちは救えてもその後の生活や人生がその人らしい輝くものにはならない。

適切なリハビリや看護ケアがあれば寝たきりからの認知機能の低下、筋力低下、あらゆる廃用は防げることがたくさんある。その工夫すらできない現状を知ってほしい。高齢者が増え、ナースコールに追われて感染対策、医療安全もおこないながら、ただ業務に追われている現状を打破しないと看護師を目指す人が減少し、働き続けられない人が増加する、喫緊の課題である。

11

③ 「看護職員処遇改善評価料」の制度を評価しますか？

◆ 診療所・クリニック（n=131）



制度を知らなかったという事業所は5事業所、診療所回答のうち1割を占めた。

診療所は評価料の対象でないが、独自に何等かの形で賃上げを行った事業所は9事業所、診療所回答のうち6%を占めた。

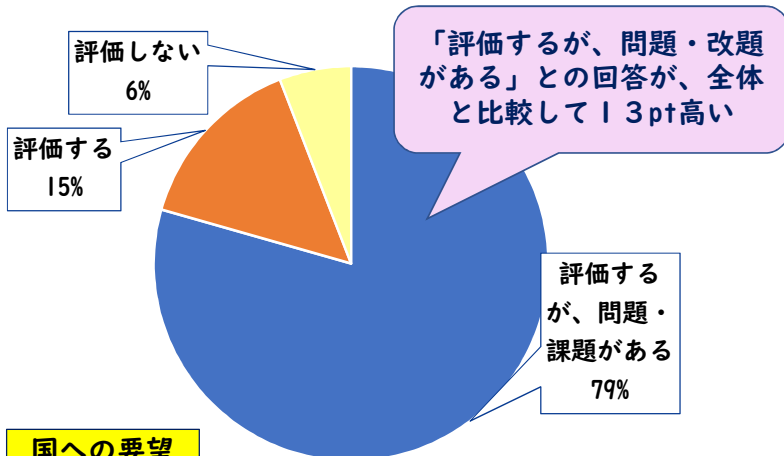
国への要望

- ＊夜勤やオンコール対応で、24時間患者さんと向き合っていて緊張し続けている。
- ＊昼休みを削って発熱外来対応し、看護師たちの疲労が蓄積し、疲弊している。
- ＊かかりつけの患者さんの断らざるを得ない状況に、罪悪感や絶望感も感じながら3年間なんとか働いてきたが心身ともに限界。
- ＊コロナ対応は、大規模病院だけではない。平等な扱いをしてほしい。
- ＊高齢者、認知症対応者が増え、1人1人に対応する時間が増加し、人手が足りない。

12

③ 「看護職員処遇改善評価料」の制度を評価しますか？

◆介護保険施設 (n=39)



制度を知らなかったという事業所は1事業所だった。

介護保険施設は評価料の対象でないが、独自に何等かの形で賃上げを行った事業所4事業所、介護保険施設回答のうち1割を占めた。

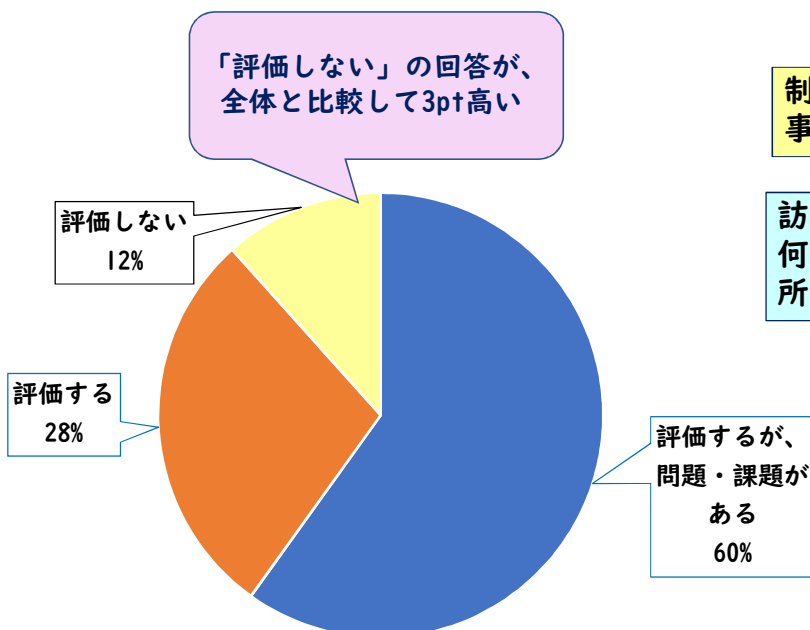
国への要望

- *医療対応が増加し、100人の利用者を看護師夜勤1人体制での対応は、不可能な状況です。
- *超高齢社会において、高齢者の受け皿となる施設において、在宅医療の支えになる施設をもっと看護師体制を厚くしてほしい。医療依存度の高さ、認知症ケアには、現在の人員では、本当にギリギリです。
- *看護も介護もいのちを守る現場の職員が足りない。

13

③ 「看護職員処遇改善評価料」の制度を評価しますか？

◆訪問看護ステーション (n=239)



制度を知らなかったという事業所は33事業所、訪問看護回答のうち14%を占めた。

訪問看護は評価料の対象でないが、独自に何等かの形で賃上げを行った事業所16事業所、訪問看護回答のうち6%を占めた。

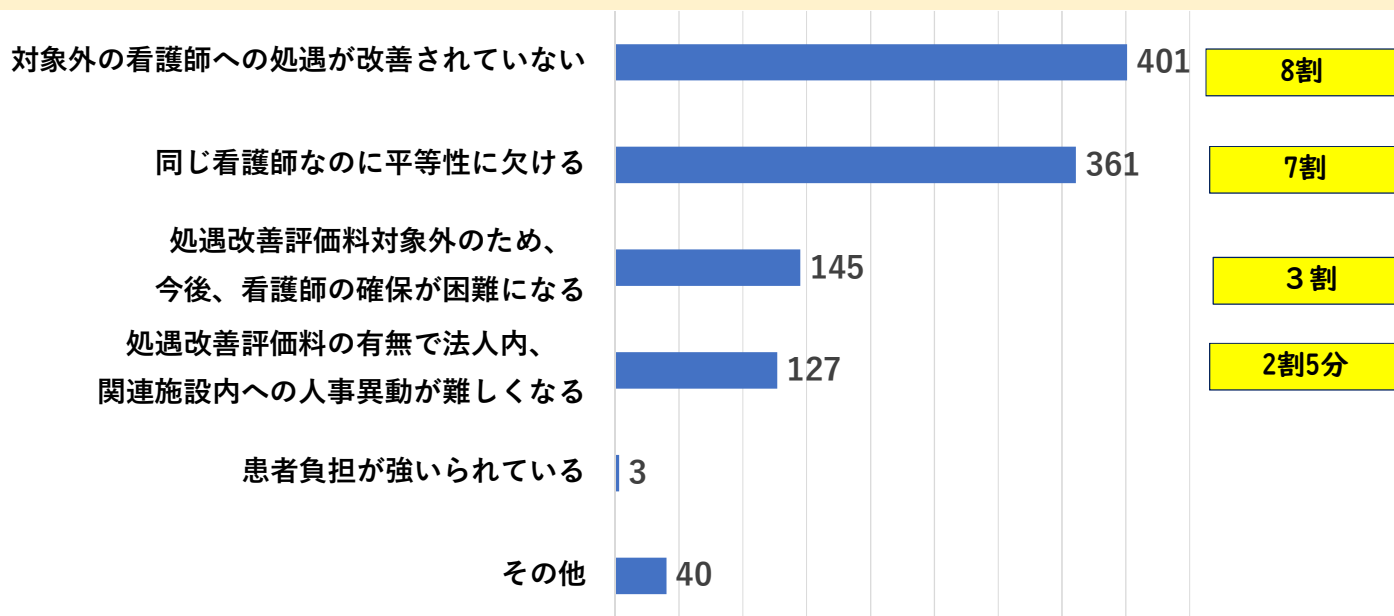
14

アンケート結果（訪問看護）：国への要望

- *地域包括ケアシステムを推進する国の方針に逆行している、なぜ訪問看護が対象外なのか、納得できない。
- *最善線は病院だけではない、地域の最前線で活動している、在宅にも光をあててほしい。
- *新型コロナ感染者の在宅療養者を支えたのは訪問看護師の力が大きかったと思っている。感染症対応しても加算がなく、個人防護具も持出して大変。
- *休日や深夜帯の緊急訪問看護をするほど赤字になる。看護職員に十分な給料が出せなくて、看護職員が辞めていく。今も人手が足りず困っている。
- *看護師不足が顕著、紹介業者からでないと呼募が無いが、紹介手数料が高額で採用できず悪循環。
- *介護福祉士等の処遇改善が進められ、よい事だが訪問看護職員は対象外。

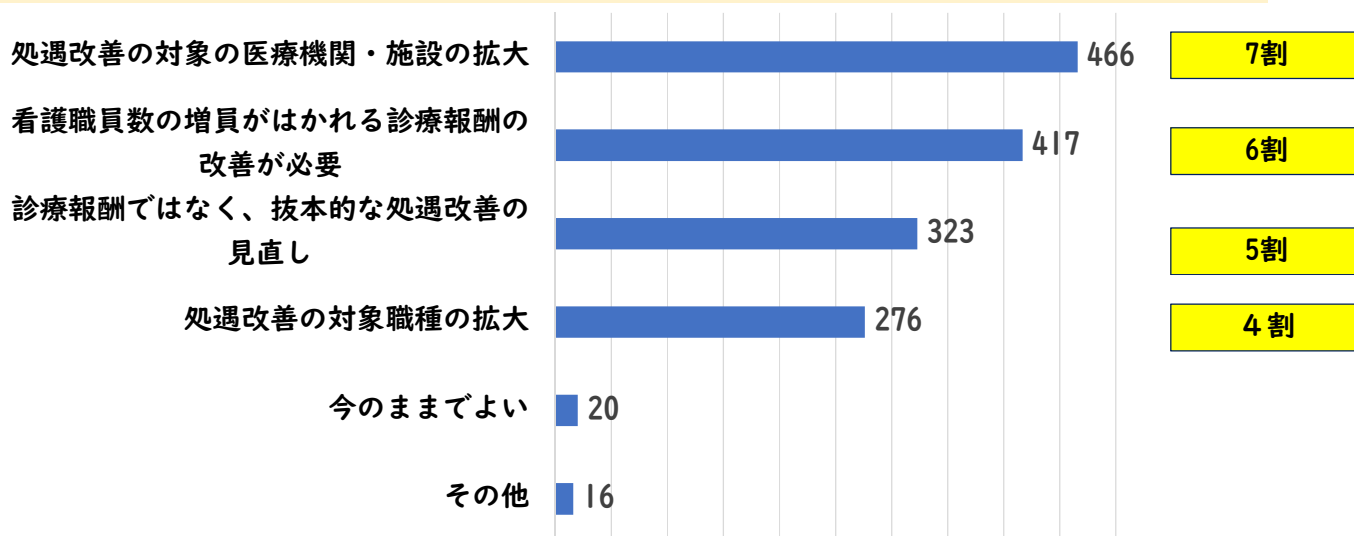
15

④この制度を評価するが問題・課題がある又は評価しないと回答された方へ ➡制度の問題点・課題は何だと思いますか？（複数回答・n=504）



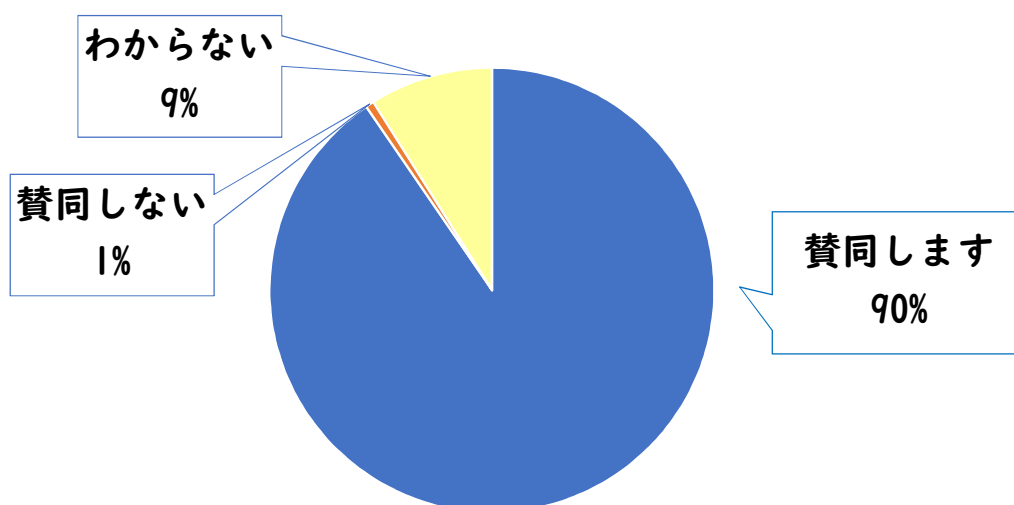
16

⑤ 看護職員処遇改善評価料について、今後要望したいこと (複数回答・n=983)



17

⑥ 全日本民医連での国や自治体に対しての 看護職員処遇改善の取り組みについて (n=670)



18

まとめ

- ①この制度の問題点と課題;対象外の看護師への処遇が改善されていない8割、平等性に欠ける7割、今後看護師確保が困難になる3割、人事異動が困難になる2割5分であった。
- ②この制度についての要望;処遇改善の対象の施設拡大が7割、次いで看護職員数が増員できる診療報酬の改善6割、そして診療報酬ではなく抜本的な処遇改善見直し5割であった。
- ③看護職員の35%しか処遇されない本制度が、現場に矛盾と混乱を拡げている事が本調査からも明らかとなった。同時に怒りと疑問の声が切々と寄せられた。